ユーカヌバ	ヒルズ サイエンスダイエット	ニュートロ ナチュラルチョイス	ニュートロ ナチュラルチョイス	ロイヤルカナン
大型犬子犬用	パピー 大型犬	パピーラージ	シュプレモ	マキシジュニア
家禽類(チキン、ターキー、他)	トウモロコシ	乾燥チキン	乾燥チキン	米
トウモロコシ粉	チキン	粗挽き米	玄米	家禽* ミート
粗びきコムギ	コーングルテンミール	コーングルテン	米糠	動物性脂肪
粗びきグレインソルガム	動物性油脂	小麦粉	乾燥ラム	植物性分離タンパク**
動物性油脂	ビートパルプ	米糠	粗挽き米	とうもろこし粉
発酵用米	チキンエキス	チキン生肉	鶏脂	加水分解動物性タンパク
乾燥卵	米	鶏脂	乾燥サーモン	コーングルテン
乾燥ビートパルプ	フィッシュオイル	ビートパルプ	ビートパルプ	とうもろこし
鶏エキス	亜麻仁	レバーエキス	ひまわり油	ビートパルプ
フィッシュオイル(DHA源)	植物性油脂	大豆油	亜麻仁	植物性繊維
発酵用乾燥酵母	トリプトファン	ひまわり油	チキンエキス	大豆油
フラクトオリゴ糖	ミックストコフェロール	フィッシュオイル	アルファルファ粉	魚油
マリーゴールド抽出物	クエン酸	乾燥卵	オートミール	フラクトオリゴ糖
食塩	ローズマリー抽出物	乾燥海草	乾燥卵	オオバコ種皮・種子
ビタミン類	ミネラル類	ビタミン類	フィッシュオイル	加水分解酵母
DL-メチオニン	ビタミン類	ミネラル類	トマト	加水分解甲殻類
ミネラル類		アミノ酸類	クランベリー	マリーゴールド抽出物
酸化防止剤		酸化防止剤	乾燥海草	加水分解軟骨
			乾燥リケニホルミス菌	アミノ酸類
			乾燥スブチリス菌	ゼオライト
			β-カロテン	ミネラル類(K、P、etc)
			ビタミン類	ビタミン類(コリン、E、etc)
			ミネラル類	保存料(ソルビン酸カリウム)
			アミノ酸類	酸化防止剤
			酸化防止剤	(BHA、没食子酸プロピル)

2011/5/1現在

こちらの表は、原材料を表記順に並べた物です。この表記は、原材料が多い順番に表記されてあります。
一番重要視したい点は、穀物中心よりお肉中心の、動物性タンパク質が豊富なドッグフードの方が良いと思います。そして、ドッグフードのラベルに『肉副産物(by-product meal、meat meal、meat and bone meal)』などと書かれていないもの。

肉副産物とは、肉自体ではなく、動物の肺、肝臓、腎臓、胃、腸、血液などを含んでおり、粗悪なドッグフードでは糞尿や屍、羽などが含まれている場合があるからです。

ビートパルプは毒素をまったく含まず、無害でたいへん安全な線維質源です。多くのフードに入っています。

「とうもろこし」について

トウモロコシは非常に消化が悪いので、ワンちゃんの胃に負担がかかると思います。トウモロコシよりも肉のほうが多く見せるために、トウモロコシとコーングルテン等とほぼ同じ原材料のものを2つにわけて、記載順を下げるなどの手もよく行われます。

ロイヤルカナンの『添加物BHA』について

添加物BHAは発癌性やアレルギー、内臓の機能障害などが報告されています。人間用では、パーム原料などに使用を認められているだけで、ほかの食品への使用は認められていないものです。

しかしロイヤルカナン側は、使用量は極微量で全く問題ないレベルであり、天然系で安全なトコフェロールやローズマリー抽出物だと酸化力が弱いので、かえってフードが酸化しやすくなって発ガンなどの危険が高くなるという。

開封後1ヶ月くらいで使い切れば天然系酸化防止剤で問題ないと考えますが、人それぞれですかね。ロイヤルカナンは、だいたいどこの獣医でも売っていますし与えている人も、山ほどいますから、そんなに問題はないと思います。

ネットや本は情報を入手するためのイトグチとして、参考にする分には利用価値はあると思います。でも実際の判断は、なるたけ顔が見える人間関係の中からするべきだと思います。

愛犬家仲間から体験情報を得たり、自分が信用できる獣医さん、もしくはペットショップの方と相談しながら決めるのが無難だと思います。